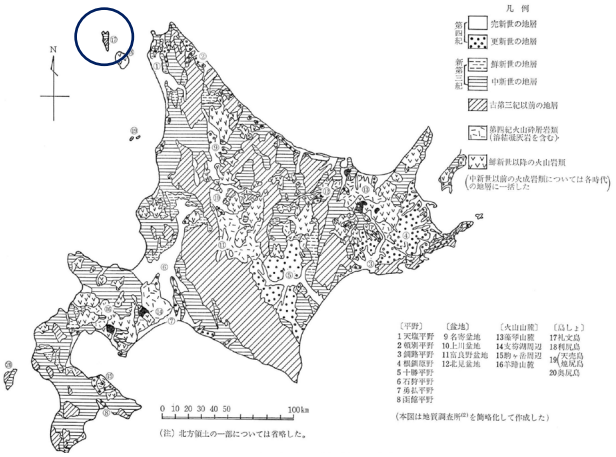
17.礼文島



地形・地質

礼文島は稚内市の西方約 50km に位置します。島の中央部に礼文岳があり丘陵性の山地が南北に連なっています。地質は下部白亜紀の礼文層群と，これを不整合に覆う新第三紀中新世の堆積岩、これらを貫く玄武岩質の岩脈などから構成されます。

礼文島の地質層序表

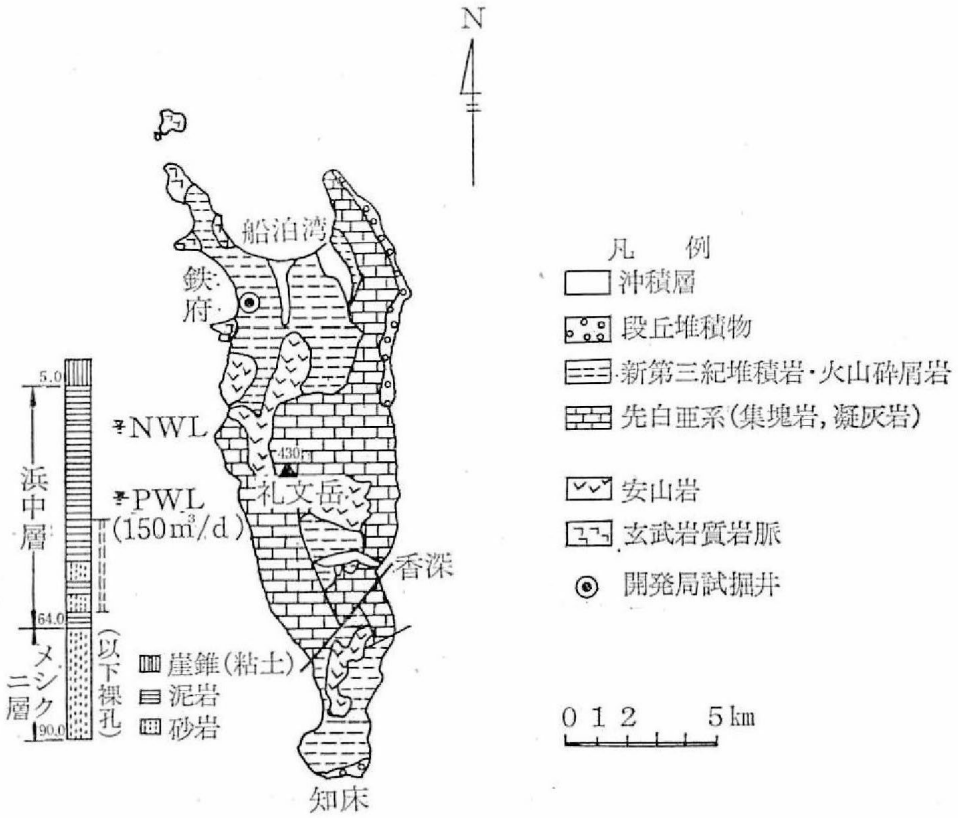
時代		地層名	岩質
第四紀	完新世	河床堆積物	砂，礫，粘土
		砂丘堆積物	砂，礫
	更新世	低位段丘堆積物	砂，礫
		高位段丘堆積物	砂，礫
新第三紀	中新世	浜中層	硬質頁岩，泥岩，玄武岩貫入
		メシクニ層	砂岩，頁岩，礫岩
		香深層 上部	砂岩，頁岩
		中部	集塊岩質砂岩，礫岩，集塊岩
		下部	集塊岩質溶岩
		元地層	硬質砂岩，凝灰質砂岩，礫岩，石炭
下白亜部紀		礼文層群	凝灰岩，安山岩質集塊岩

（北海道開発局報告書[2]による）

地下水

第四紀の未固結堆積物，礼文層群は帯水層となり得る可能性は低いです。

地下水調査の結果、北部鉄府地区では地層の亀裂に分布する裂か水が得られましたが、南部知床地区では地下水賦存の可能性は極めて低いと判断されました。



礼文島の地質図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）